

備前市事務事業評価表

事務事業名	広域連携事業		コード	04-03-01-13
			担当課・係	商工観光課 観光係
			担当者	岩崎和久
事業実施期間			電話	64-1832(274)
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり		
	小項目(施策)	観光		

事業について	
目的 (何のために)	観光振興施策の一つとして、近隣地域との連携、多方面での展開、協力体制の整備、協働による観光客誘致を目的とした広域連携を推進するため
対象 (誰・何を対象に)	観光関連団体など
内容	J R赤穂線沿線地域活性化事業、山陽観光協議会会費、備前瀬戸観光協議会会費、東備広域観光推進協議会運営事業、岡山・東備観光推進会議負担金、岡山県観光連盟会員事業、瀬戸内海沿岸ドライブウェイ整備促進期成会会費

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
加盟団体数	7 団体	7 団体	
観光PR回数	33 回	40 回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,631	間接補助金等		直接事業費	1,579	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	3,714	受益者負担		人件費	3,445	受益者負担		人件費		市債	
合計	5,345	一般財源等	5,345	合計	5,024	一般財源等	5,024	合計	0	一般財源等	0	

結果指標	必要人員	0.45 人	0.47 人
	結果指標名	観光PR回数	観光PR回数
	結果指標量	33	40
	単位	回	回
結果指標	対前年比		121.21%
	活動にかかるコスト	5,345,000 円	5,024,000 円
	単位当たりコスト	161,970 円	125,600 円
	結果指標名		
結果指標	結果指標量		
	単位		
	対前年比	—	
	活動にかかるコスト	円	円
結果指標	単位当たりコスト	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	観光PR回数の増 (広域連携の費用対効果を検証する指標は、この活動が効果として表現できる数値は存在しないため、この活動を行うことによってどれだけPRを行うことが出来たかを数値化する以外に考えられない。)		
成果指標名	観光PR回数	式又は説明	主要駅での観光PR、物産展、イベント参加、各種会議でのPRなど
成果指標量	17年度 33	18年度 40	
対前年比	—	121.21%	0.00%
到達目標値	40回	到達目標年度	20年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	本市における備前焼は、観光シンボルとして全国的な知名度を保ち、重要な役割を担っている。今後も観光振興の基幹として継続的に支援することが必要である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	備前焼の伝承と普及を目的とした施設の管理運営は非常に重要であるが、施設管理においては、効率性を重視し適正管理がなされるよう注視する必要がある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	有効性評価<A~E> C 課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	備前焼の伝承と普及という面からの施設管理運営及びイベントによる大衆層へのアピールなど、事業効果は高いと思われる。

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 40 成果指標量 40	単なるお付き合い団体ではなく、実行部隊として活動を行っているものがほとんど。効果の薄いものについては、脱会したり、負担金を徴収せず休会を行う。ただし、今後も有益な活動が見込まれば、新規加入も考慮していきたい。	

総合評価	観光振興施策を推進する上で、効率的な情報収集や宣伝活動を行うためには、広域連携が必須である。近隣地域との連携によるスケールメリットやメディアへのアピールを考えれば、今後も推進することが重要である。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	加盟団体の有効性を検証する	随時	効率的な財政経費の支出